
夏の失恋

上谷博

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

夏の失恋

【NZコード】

N8681D

【作者名】

上谷博

【あらすじ】

夏祭りで失恋してしまった、自分。

今日、夏祭りに行つてきた。

ただ、友人と馬鹿騒ぎして帰つてくる。

それだけのはずだった・・・。

だが、行かなければよかつたと後悔している。

あの人があの人が彼氏といった。

私と違い、かつこよかつた。

彼女の行つた高校だから、頭もいいのだろう。

噂には聞いていたけど、間近に見たことはなかつたのに・・・。

思えば、小学生のころから彼女が好きだつた。

気持ち悪いほど、一途だつた。

読書仲間として知りあつて、結構仲良くやつてきた。

中学の時、同じ塾に入つてきたときは、天にも昇る気持ちだつた。

中学を卒業した後の春休み、二人きりで散歩したこともある。

なんで、あの時彼女に告白しなかつたんだろう。

やはり、自分には度胸がなかつたとしか言えない。

あの時なら、まだ米粒ほどの希望でも残つていたのに。

彼氏ができたと知つてしまつたら、自分自身で自分を責めてしまつた悔やみでも悔やみきれない、これほどまで自分を責めてしまつたのもできないの。

私は愚かだったのだ。

あの人は私のことをどう思つていたんだろうか。

恋愛対象としては見てこなかつたと想う、でも、好意はあつたと思いたい。

だがもはややんないこと、どうでもいいんだ。

すべては終わってしまったんだから。

祭り、私には、一生、初恋が破れた、場所として記憶されるだろう。
。

そう、一生、永遠に・・・。

(後書き)

自分の経験をもとに書いてみました。
お手本はしたほうがいいですよ。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8681d/>

夏の失恋

2010年12月19日02時29分発行